



2022年5月11日

「食」の“可視化”で市民の健康づくりを推進 SOMPOひまわり生命が山形県上山市へ健康機器を贈呈

SOMPOひまわり生命保険株式会社（社長：大場 康弘、以下「当社」）は、市民の健康づくりの推進を目的に、「上山型温泉クアオルト活用包括的連携に関する協定」を締結している山形県上山市（以下「上山市」）へ健康機器を贈呈し、2022年5月11日に上山市役所において、目録贈呈式を行いました。

1. 「上山型温泉クアオルト活用包括的連携に関する協定」概要

当社は、お客さまの万が一と毎日の健康を応援する「健康応援企業」の確立をビジョンに掲げ、健康経営に積極的に取り組んでいます。その取組みの一環として2017年にクアオルト体験プログラム^{※1}を導入し、社員の健康維持・増進に活用しています。

社員とその家族、お客さまの健康づくりの推進に向けた取組みを通じて、当社の健康経営と地域活性化を図ることを目的として、2017年6月24日に上山市と協定を締結しました。

※1：クアオルトはドイツ語で「健康保養地・療養地」を意味します。自然環境を活用した健康増進に向けたウォーキングの実施や、地場産食材を使った栄養バランスの優れた料理の提供、温泉入浴の組み合わせによる健康増進プログラムのことです。

2. 寄付の経緯、内容

上山市は、ドイツのクアオルトにならい、自然環境や温泉、食などの地域資源を活かしながら、市民の健康増進と交流人口の拡大による地域活性化を目的に、全国に先駆けて、“心と体がうるおうまち”づくりを進めています。

当社は上山市が実施する「食」の“可視化”による市民の健康寿命の延伸を図るための3か年事業の取組みに賛同し、健康機器を贈呈するに至りました。野菜不足の“見える化”による生活習慣病予防を目的とした野菜摂取量測定器（ベジメータ）、口腔機能の維持向上とフレイル予防を目的とした舌圧測定器を贈呈します。野菜摂取量測定器（ベジメータ）の設置は東北自治体で初となります。

3. 今後の取組み

当社は今後も、上山市をはじめ、全国6市2町で組織する「日本クアオルト協議会」加盟自治体と連携し、社員とその家族の健康維持・増進および地域活性化に貢献してまいります。

以上

【別紙】 目録贈呈式の様子と贈呈品

<目録贈呈式の様子>



左：SOMPOひまわり生命 社長 大場 康弘 右：上山市 横戸長兵衛市長

<贈呈品>

野菜摂取量測定器
(ベジメータ)



舌圧測定器



【本件に関するお問い合わせ】

SOMPOひまわり生命保険株式会社

広報部 森谷

TEL：03-6742-2030

E-mail: koho_communication@himawari-life.co.jp